

1. 履修をはじめると

大学では高校までと異なり、履修や学生生活に関するすべてのことが自分の責任に委ねられています。それだけに、各自が履修制度について十分な理解のもと履修することが望まれます。

1. 長期的な履修計画を立てること

授業科目は、「共通科目」と学科専門の教育に関する科目群である「専攻科目」からなります。みなさんは、これら2つの「授業科目の区分」から、卒業するために必要な一定の単位数を満たすように履修しなければなりません。

1 学年間に履修できる単位数には上限が設けられており、また、各学期（前期・後期）に、必ず履修すべき科目や選択して履修すべき科目が教育方針に基づいて配当されています。なお、年度によって開講される科目が異なりますので、履修計画を立てるときには、同時に次年度における履修計画もあわせて考える必要があります。

2. 系統的に科目を履修すること

短期大学部における学業は、学科毎に定められた所定の要件を満たすことで完了しますが、その一環として一定の単位数を修得する必要があります（その単位のことを卒業要件単位と呼び、修得のしかたは多くの組合せがあります）。明確な学修目的を持たずに、単に決められた単位数を数字の上でそろえるだけの履修では、たとえ2年間在学したとしても、短期大学部の卒業生としてふさわしい能力と識見をもつことはできません。したがって、自らの学修目的にあわせて、各科目の性格やその科目の開講学年を考慮しながら系統的に履修する必要があります。

短期大学部2年間において、学問研究に触れる中心的な場は「演習」（ゼミナール）です。この「演習」では、みなさんは自ら選んだテーマに主体的に取り組み、専門的な視点に立って研究することが肝要となります。「演習」をはじめる前に、「演習」における自身のテーマの研究にとって土台となる知識や思考力、さらには研究方法などをあらかじめ修得しておくことが求められます。

3. 自主的に学修をすること

十分な学修成果をあげるためには、単に授業を受けるだけでなく、授業そのものに積極的な姿勢で臨むとともに、授業以外に自主的な学修が必要です。そのため、シラバス（講義概要や到達目標、評価方法、講義計画等について記載したもの）によって指示された参考図書をはじめ、関連図書をよく読んで理解を深めることが望まれます。また、授業を聞き、参考図書・関連図書でも理解できない点については、直接先生に質問したり、先生や友人・先輩とディスカッションをしたりすることで理解を深めることも大切です。

4. 履修要項記載の提出物、その他にかかる締め切りについて

卒業論文の提出をはじめ、それ以外の履修要項記載の提出物、その他にかかる締め切りは厳守する必要があります。たとえば、提出期限を過ぎて提出された卒業論文は原則として受理されず、当該年度の卒業は延期となります。学生本人に非がないと考えられる場合には、教授会の議を経て、締め切りを守った場合と同様の対応を行うこともあります。大学における履修上の各種の締め切り期日に遅れた場合は、卒業延期や資格を得られないといった状況につながる可能性が高いので、この点十分に注意して手続き等を進める必要があります。締め切りに関連する連絡は、ポータルサイトまたは掲示等を通しておこなわれます。高等学校までと異なり、各自が自己責任において履修に必要な締め切りの確認をおこなうことが大切です。

5. オフィスアワー

専任教員との面談は、紫英館（6号館）1階面談ホールの「出退表示板」にて、教員の「在」・「不在」を確認の上、受付に申し出てください。非常勤教員との面接は事前に教員とアポイントメントをとり、その指示に従ってください。

短期大学部では、みなさんに対する学修上の指導や助言のために、正課の授業のほかに、学修上の相談時間として「オフィス・アワー」を設置しています。その実施方法は各教員により異なります。この制度の実施方法・内容の細目については履修説明会で説明します。教員の担当体制上、多大な努力によって設けられた制度ですから、この貴重な時間をみなさんが積極的に活用されて、学修上大きな成果をあげられることを期待します。

各教員のオフィスアワー実施時間は、別途案内いたします。

履修をはじめると

シラバス

単位制度と開講方法

授業科目の履修登録

成績評価

教育課程の編成方法

諸課程

その他

学修生活の手引き

高等保健センター
履修要項について

授業休止の取り扱い基準

学籍の取り扱い

付録

6. 短期大学部 授業欠席届

短期大学部 授業欠席届

届出日 年 月 日

短期大学部	学科	学 年	
学籍番号	S	氏 名	

下記の理由で授業を欠席いたしました。

科 目 名		担 当 者 名	
欠 席 日	年 月 日 ()	講 時	

本届を提出しても成績に関係しない事もある旨を承知しております。
(診断書等別添書類 あり・なし)

短期大学部 授業欠席届

届出日 年 月 日

短期大学部	学科	学 年	
学籍番号	S	氏 名	

下記の理由で授業を欠席いたしました。

科 目 名		担 当 者 名	
欠 席 日	年 月 日 ()	講 時	

本届を提出しても成績に関係しない事もある旨を承知しております。
(診断書等別添書類 あり・なし)